# 山南版 丹波市地震ハザードマップ

保存版

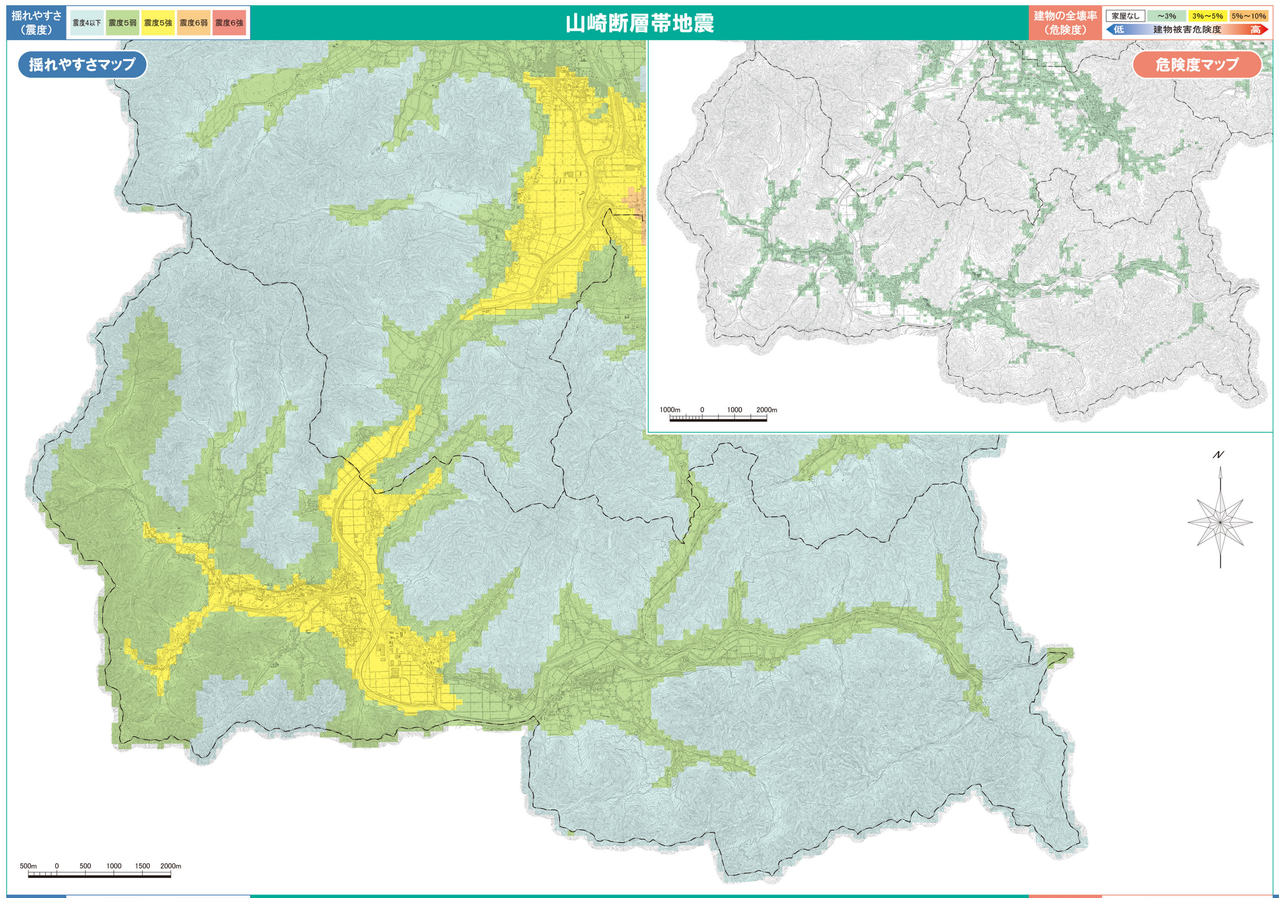
揺れやすさマップ：丹波市に影響を与える地震が発生した場合、どのくらいの震度が予想されるかを示したものです。

危険度マップ：丹波市に影響を与える地震が発生した場合、どのくらいの建物被害が予想されるかを示したものです。

## 山崎断層帯地震

揺れやすさ（震度）：震度4以下 / 震度5弱 / 震度5強 / 震度6弱 / 震度6強

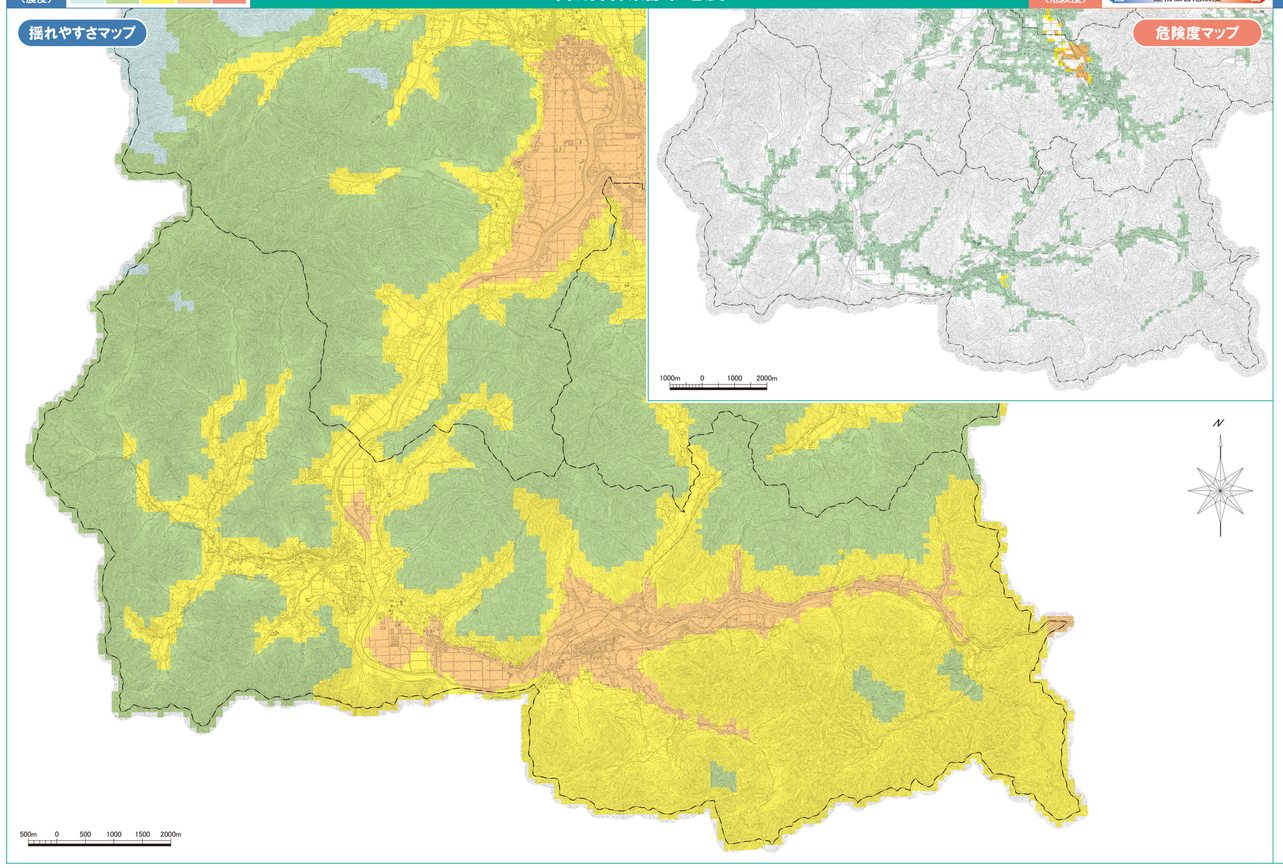
建物の全壊率（危険度）：家屋なし / ～3% / 3%～5% / 5%～10%　低 建物被害危険度 高




## 御所谷断層帯地震

揺れやすさ（震度）：震度4以下 / 震度5弱 / 震度5強 / 震度6弱 / 震度6強

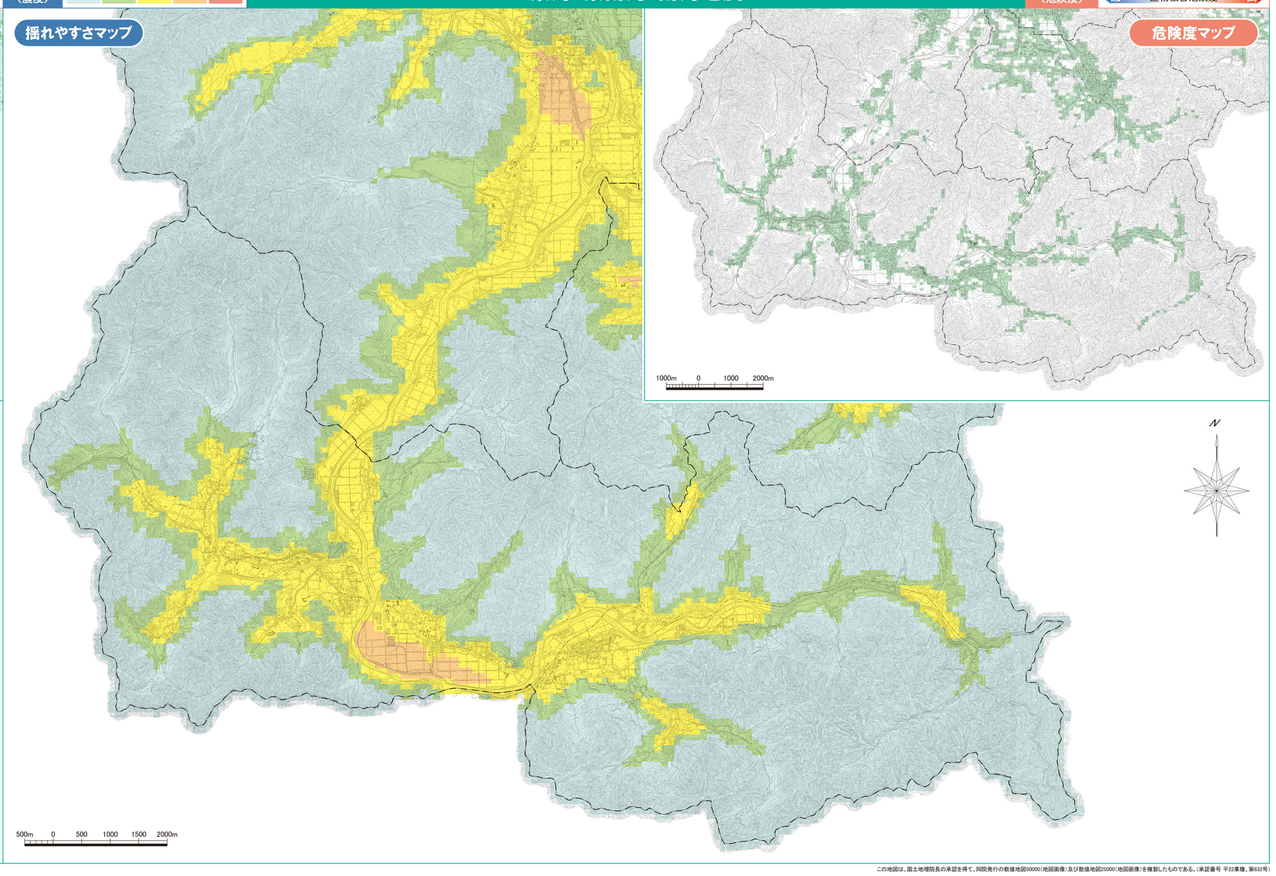
建物の全壊率（危険度）：家屋なし / ～3% / 3%～5% / 5%～10%　低 建物被害危険度 高




## 東海・東南海・南海地震

揺れやすさ（震度）：震度4以下 / 震度5弱 / 震度5強 / 震度6弱 / 震度6強

建物の全壊率（危険度）：家屋なし / ～3% / 3%～5% / 5%～10%　低 建物被害危険度 高




## 地震が起きたら

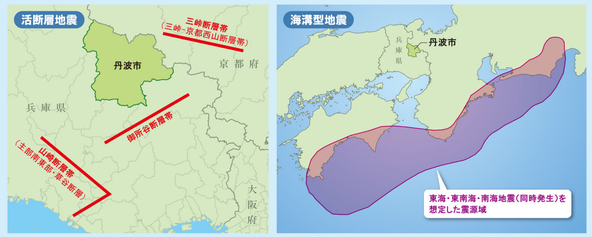
地震発生時は、あわてず、落ち着いて、身の回りの安全を確認しましょう。

## 震度と揺れの状況

### 緊急地震速報を見聞きしたら…

## 想定地震について

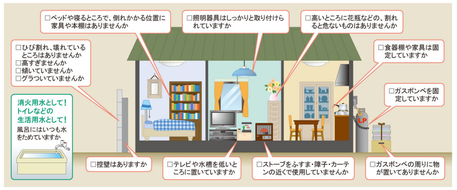
- 市域に影響を与える地震として、①三峠断層帯地震（山南地域版は山崎断層帯地震）、②御所谷断層帯地震、③東海・東南海・南海地震の3つを想定しています。
- お住まいの地域でどのくらいの揺れや建物被害が予想されるのかを確認し、地震対策に役立ててください。
- 丹波市に震度6弱以上の影響をもたらす可能性のある想定地震は他にもあります。各地の地震災害では、家具の下敷きで亡くなった方が多数おられます。各ご家庭で、家具の転倒防止などの対策をしっかり行ってください。



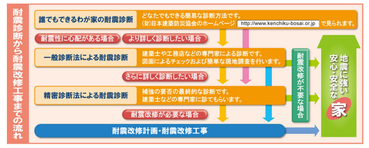

※図で示した震源域は、震度予測のためにモデル化されたものであり、実際の位置を示すものではありません。

## 地震への備え

### ■家の内外チェック




### ■進んで耐震診断を行い、補強が必要な箇所の耐震改修を実施しましょう！




昭和56年5月以前に建てられた住宅は、ぜひ耐震診断を行って下さい。昭和56年6月以降に建てられたものでも、ご心配なら、耐震診断を行うことをお勧めします。

丹波市建設部都市住宅課でも、耐震に関する相談を受け付けています。

### ■家具などの対策

地震で建物が倒壊しなくても、大きな家具の転倒、家電製品の落下、ガラスの飛散などにより大きなケガをしたり逃げ道をふさがれたりします。新潟県中越地震（平成16年10月）でも、負傷者の約5割は家具類の転倒・落下、ガラスの飛散によるものでした。家具の固定や配置方法の工夫を行い、家の中の安全性を高めておきましょう。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22東複、第632号）